



福岡県医第2708号(地)

平成27年 1月 7日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良

(公 印 省 略)

野生のオシドリからの高病原性鳥インフルエンザウイルス
(H5N8亜型)の検出について

高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8亜型)の検出につきましては随時ご連絡しておりますが、今般、新たに岐阜県可児市において回収された野生のオシドリの死亡個体から高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8亜型)が検出された旨、別添のとおり厚生労働省健康局結核感染症課より福岡県健医療介護部を通じて情報提供がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件につきましてご了解いただき、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 田中泰之
会長 廣瀬真恵

26保衛第2441号-4

平成26年12月25日

公益社団法人	福岡県医師会長	}	殿
公益社団法人	福岡県病院協会会長		
一般社団法人	福岡県私設病院協会会長		
公益社団法人	全国自治体病院協議会福岡県支部長		
一般社団法人	福岡県精神科病院協会会長		

福岡県保健医療介護部長
(保健衛生課感染症係)

野生のオシドリからの高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型)
の検出について

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このことについて、厚生労働省健康局結核感染症課長から、別添(写)のとおりの情報提供がありましたのでお知らせします。

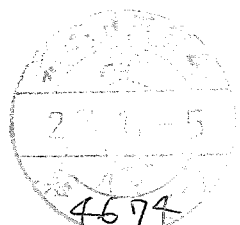
つきましては、貴会会員に対して周知をお願いします。

(担当)

福岡県保健医療介護部保健衛生課
感染症係 中山

TEL:092-643-3268

FAX:092-643-3282



事 務 連 絡
平成 26 年 12 月 20 日

各

都道府県
保健所設置市
特 別 区

 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局
結核感染症課

野生のオシドリからの高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）
の検出について（情報提供）

今般、環境省から、岐阜県可児市において回収された野生のオシドリの死亡
個体から、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）が検出されたこ
とについて、別添のとおり発表がありましたのでお知らせします。

鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥類やその死体等に濃厚に接触した
場合を除いて、通常は人に感染することがないと考えられています。引き続き、
「野鳥等における鳥インフルエンザ（H5N1）の発生への対応について」（平
成 20 年 10 月 1 日付け健感発第 1001001 号）等に基づき、野鳥等からの感染予
防の留意事項にかかる周知等、必要な対応について遺漏なきようよろしくお願
いします。

別添：環境省による公表資料

報道各社御中 ← 環境省広報室

岐阜県で回収された死亡野鳥における鳥インフルエンザ検査状況等について
(H26.12.20 13:00)

現時点での検査状況等について、以下のとおりお知らせします。

番号	都道府県	場所	種名	回収日	簡易検査	遺伝子検査	確定検査	監視重点区域指定状況
11	岐阜県	可児市	オシドリ	12/12 回収	陰性	12/16 陽性	12/20 高病原性鳥インフル エンザウイルス(H5 N8亜型)と判明	12/16 指定

(これまでの事案については最後尾に掲載しております。)

【No.11の案件について】

鳥取大学(確定検査機関)において実施された確定検査により、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8亜型)であることが判明しました。このため、野鳥緊急調査チームの派遣準備を開始。

※調査チームの派遣日時等詳細については、決まり次第お知らせします。

1 主な経緯等

(1) 死亡野鳥の回収地点

岐阜県可児市(かにし)

(2) 経緯

- ・ オシドリ1体の死亡個体を回収(12月12日)。簡易検査を実施したところ陰性と判明。
- ・ 12月16日に国立環境研究所が遺伝子検査を実施したところA型インフルエンザウイルス遺伝子陽性と判明。
- ・ 16日、回収地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- ・ 20日、確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8亜型)と判明。
- ・ 同日、野鳥緊急調査チームの派遣準備を開始。

2 対応

- (1) 野鳥監視重点区域において、野鳥の監視を一層強化。
- (2) 野鳥緊急調査チームを派遣。
- (3) 全国での対応レベルは、すでに対応レベル3として監視を強化しており、引き続き監視を強化。
- (4) 「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.htmlに掲載)に基づき適切に対応。



【留意事項】

- ・ 鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人には感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には手洗いとうがいをいただければ、過度に心配する必要はありませんので、冷静な行動をお願いします。
- ・ 周辺地域のみならず国民の皆様におかれては、死亡野鳥に素手で触らない他、野鳥のいる公園等に行った際は、靴で糞を踏まないよう十分注意するなど、「野鳥との接し方について」

(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/20101204.pdf) に十分留意されるようお願いします。

環境省はホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成26年12月20日(土)
自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室
直 通：03-5521-8285
代 表：03-3581-3351
企 画 官：堀内 洋 (内線6470)
鳥獣専門官：根上 泰子 (内線6676)



【参考】

今シーズンの鳥インフルエンザ検査状況等

番号	都道府県	場所	種名	回収日	簡易検査	遺伝子検査	確定検査	監視重点区域指定状況
1	島根県	安来市	渡り鳥糞便	11/3 採取			11/13 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	11/13 指定 12/19 0 時解除
2	東京都	江東区	ホシハジロ	11/13 回収	陰性	11/17 陽性	11/25 インフルエンザウイルスは検出されず	11/17 指定 11/25 18 時解除
3	宮城県	栗原市	オオハクチョウ	11/19 回収	陽性		11/27 インフルエンザウイルスは検出されず	11/19 指定 11/27 11 時解除
4	千葉県	長生郡長柄町	カモ類糞便	11/18 採取	陽性	11/20 陽性	11/22 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	11/20 指定
5	鳥取県	鳥取市	カモ類糞便	11/18 採取			11/27 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	11/27 指定
6	東京都	大田区	ホシハジロ	11/26 回収	陽性		12/4 インフルエンザウイルスは検出されず	11/27 指定 12/4 18 時解除
7	鹿児島県	出水市	マナヅル	11/23 回収		11/27 陽性	11/29 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	11/27 指定
8	兵庫県	南あわじ市	アイガモ (野生化個体)	11/29 回収	12/1 陽性		12/7 鳥インフルエンザウイルス (H1N1 亜型) と判明	12/1 指定 12/8 11 時半解除
9	鹿児島県	出水市	環境試料 (ねぐらの水)	12/1 採取		12/5 陽性	12/6 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	12/5 指定
10	鹿児島県	出水市	ナベヅル	12/7 回収	陰性	12/7 陽性	12/10 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	12/8 指定
11	岐阜県	可児市	オシドリ	12/12 回収	陰性	12/16 陽性	12/20 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	12/16 指定
12	島根県	出雲市	マガモ	12/16 回収	陽性		確定検査機関で検査中	12/16 指定
13	鹿児島県	出水市	ナベヅル	12/17 回収	12/17 陰性	12/17 陽性	12/19 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	12/17 指定

(太枠内下線が今回の情報です。)